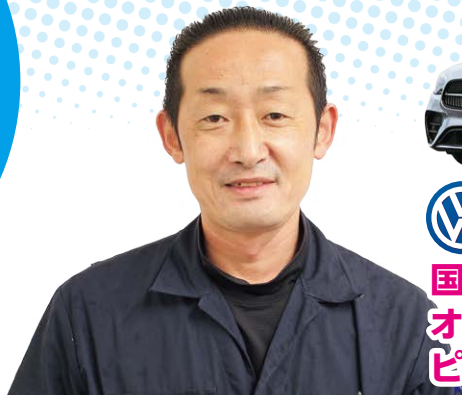


オートウェーブの 輝く人

宮野木店
鈴木 孝匡
(すずき たかまさ)



国産車だけでなく、輸入車にも精通。
オートウェーブでトップクラスの技術を持つ
ピットマン

Q 鈴木さんはオートウェーブの中でもトップクラスの技術を持ち、顧客からも多くの信頼を得ていると伺いました。簡単に経歴を教えてくださいませんか？

A ありがとうございます。
平成4年に入社して30年が経ちます。自動車の専門学校から新卒で入社しました。在学中、当社にタイヤ交換を依頼した際、アルバイトの募集が掲示されていたので「働いてみよう」と応募しました。
その縁もあって卒業と同時に正社員で入社し、モータースポーツ系の販売員を10年担当しました。昔のモータースポーツ担当は、販売した商品を自分が取り付けるという流れだったので、販売とピットの両方を学び事が出来ました。

Q オートウェーブの特徴の一つとして、輸入車の作業を断らないと聞いています。その理由をお聞かせください。

A そもそも輸入車に関しては技術情報が少なく、トラブル発生のリスクなどを考えると断ったほうが無難なのだと思います。しかし、輸入車、特に中古車の年間販売台数は10年前に比べて約10万台伸びており、輸入車自体の保有台数も増加傾向にあります。その一方で、中古輸入車の整備受け入れ先に困るドライバーも増えています。
そのような状況の中で、私たちの「安心・安全を届け明日を守る」という理念を、輸入車オーナーの皆様にもご提供する事、また、輸入車の整備も30年以上手掛けてきた自信がありますので、整備依頼は断らないんです。というよりも、断りたくないですね(笑)



Q 輸入車の整備に関して、オートウェーブならではの強みはありますか？

A 先ほども触れましたが、30年以上輸入車へ関わってきましたから、一般的なマニュアルだけでは分からない、注意する情報やノウハウを持っています。
それらを共有することで、フェラーリやポルシェといった車も積極的に受け入れさせていただいています。
また、輸入車用のコンピューター診断機を導入しておりますので、ディーラーと同じクオリティで作業も出来ます。
最近では、輸入車部品調達の注文システムに加盟登録したことで、さらに細かい情報の取得や、スピーディーな部品確保が可能となりました。

Q 車検や整備はディーラーで、と認識しているオーナーも多いと思います。ディーラーと比較した時のメリットはありますか？

A 我々の強みはメーカーに縛られず、幅広い車種に対応可能だという所だと思っています。また、リビルト品などを活用することで、ディーラーと同等のクオリティを保った上で、コストカットもご提案できます。こういった柔軟な対応が、お客様からご好評をいただいております。



Q 最後に、今後の抱負など一言お願いします。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、車を利用してレジャーへ出かけるということが制限されている一方で、逆に電車から車通勤に変えたことでの需要増加など、状況はめまぐるしく変化しています。
ただ、「お客様の安全を守るために、最高の技術を提供する」という事はどんな時でも変わってはいけない部分だと思っています。
今までの経験を活かし、より高い技術力を磨くことで、「鈴木に任せれば安心だ」と言ってもらえるピットマンをこれからも目指していきます。



オートウェーブ宮野木店に 新ピットが完成

効率化を図り、よりスピーディーに

2021年10月5日(火)より、オイル/タイヤ/多目的作業を集約した
新ピットが宮野木店で稼働開始しました。

迅速作業の要、オイル交換専用地下ピットも
完備し、最速10分で作業出来ます。

また、売り場に近くなる事で立ち合い説明が
行いやすくなり、顧客満足度のアップに繋がります。

地球環境へ出来ること

自動車事業と切り離せない事の一つに「地球環境への配慮」があります。昨今レジ袋有料化に代表される様に、プラスチックごみ削減や地球温暖化対策、産業廃棄物処理に対する個々の意識が向上しています。
その中でも特に自動車業界には、よりクリーンな社会を実現する為の努力が望まれています。当社も例外では無く、様々な取り組みを行っています。

布製のシートカバーを利用

従来のビニール製でなく、布製のカバーを使用することで年間10万枚以上のプラスチックごみを削減しています。



廃タイヤの適正処理と再資源化

当社では再生ゴムやゴム粉、エネルギー資源としてタイヤのリサイクル事業に取り組む専門業者にタイヤ処理を依頼し、再資源化と環境保全を推進しています。

